

令和元年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	萑真クラブ
出席者	田原一孝・一木長博・浅川裕康・内藤正之・小沢栄一・木内吉英
事業名	伊豆市汚泥再生処理センター「ピュアプラザ」について
事業区分	①研究研修 ②調査

1. 萑崎市での課題と研修・調査の目的

峡北広域行政事務組合が運営するし尿処理施設（峡北南部衛生センター）は、昭和41年に稼動を開始してから50年以上が経過し、昭和51年に大規模改修をおこなってからも40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。伊豆市でのし尿処理施設導入に至った経緯や状況、市民アンケート等からの課題や問題点、効果等を調査・研究し、施設の見学を行い、今後の課題解決の参考にしたい。

2. 実施概要

実施日時	令和2年1月17日（金） 10:00～12:00
視察先	伊豆市汚泥再生処理センター「ピュアプラザ」
担当部局	伊豆市議会事務局
報告内容	<p>1・伊豆市の概要</p> <p>伊豆市は、伊豆半島の中央部に位置し、南側は天城山系の山並みに囲まれ、西側は駿河湾に面している。中央には天城山から発する狩野川が流れ、北部はその沖積層により形成された田方平野となっていて開けている。</p> <p>太平洋側の気候の影響から、年間を通して温暖な気候に恵まれており、年間平均気温は15℃で、穏やかな気候である。</p> <p>平成31年4月1日現在の人口は、30,678名で、世帯数は13,390戸となっている。</p> <p>2・伊豆市汚泥再生処理センター「ピュアプラザ」建設経過概要</p> <ul style="list-style-type: none">◆伊豆市総合計画に、し尿処理施設整備事業を位置づけ（H18.3）◆し尿処理施設建設候補地選定委員会開催（H22.2～9）◆基本計画・測量・地質調査・生活環境影響調査（H22.6～24.3）◆汚泥再生処理センター建設総合評価審査委員会開催（H24.3～11）◆建設用地取得（H24.11）◆都市計画法・都市計画決定（H24.11）◆汚泥再生処理センター建設工事業務委託契約（H24.12） （総合評価方式一般競争入札・性能発注方式）◆建築基準法・建築確認（H25.9）◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律・一般廃棄物処理施設設置届出（H25.9）◆着工（H25.9）◆竣工（H27.3）

感想（まとめ）
・ 市政に活かせること

1. 運営状況

①施設概要

- ・ 名称：伊豆市汚泥再生処理センター「ピュアプラザ」※公募にて決定
- ・ 敷地面積：4249.72㎡
- ・ 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階
- ・ 建築面積：908.44㎡
- ・ 延べ床面積：1919.96㎡
- ・ 計画処理量：28k l / 日（週7日平均）
- ・ 水処理設備：浄化槽汚泥対応型膜分離高負荷生物脱窒素処理方式
- ・ 資源化設備：助燃剤化（含水率70%以下の脱水汚泥）
（令和4年10月より新焼却施設にて焼却予定 サーマルリサイクル）

②平成30年度運営状況

- ・ 搬入業者数3社（(有)修衛環境サービス・(有)フジエイ・(有)土肥クリーンサービス）
- ・ 業務委託（平成30年度）…総事業費94,015千円
 - ◆主な委託業務
 - ・ 汚泥再生処理センター維持管理業務委託（3年間契約）…62,892千円
 - ・ 一般廃棄物（脱水汚泥）運搬処理処分業務委託（3年間契約）…10,551千円
 - ・ 汚泥再生処理センター環境測定業務委託（3年間契約）…605千円
 - ・ 汚泥水槽清掃業務委託…1,556千円
 - ・ 沈砂運搬処分業務委託…208千円
 - ・ 設備修繕業務…18,203千円

2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

伊豆市汚泥再生処理センターでの研修において、担当者から、立地条件や処理方式・規模等についてや、整備や運営方法等について調査・研究を重ねて建設に至ったと伺ってきた。施設の見学では、敷地外周に臭気センサーが設置されており、住民に結果がわかるように、電光掲示板で数値が表示される仕組みになっていた。

峡北南部衛生センターの新しいし尿処理施設の建設について、伊豆市での整備・運営手法等や、見学をおこなった施設などを参考にし、今後の整備計画に活かしたい。



※写真等がある場合は添付すること